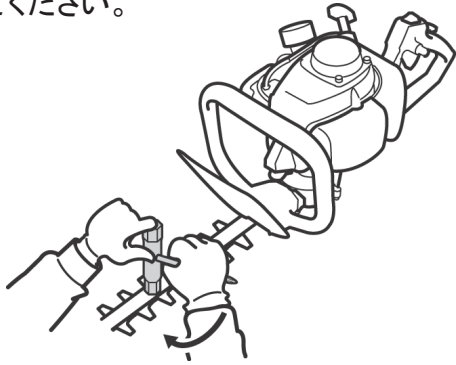


### [安全作業]

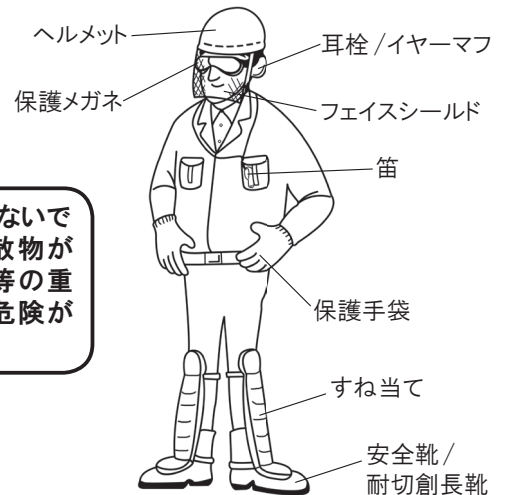
#### 1. 作業の服装と防護具

図のような各種防護具を着用してください。目を保護する保護メガネなども必ず使用してください。



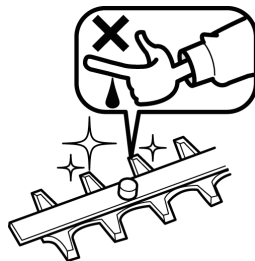
※刈刃は、スムーズに動くためスキマが必要です。調整方法は取扱説明書を参照してください。出荷時は調整済みです。

保護メガネを着けないで作業すると、飛散物が目に入って失明等の重大事故を起こす危険があります。



#### 2. 使用前のチェック

各部のネジを点検し、緩みのあるところは増締めしてください。ヘッジトリマの刃はとても鋭利ですので、素手等で刈刃をさわらないでください。刈刃に損傷・変形がある場合は新しい刃と交換してください。



#### 3. 作業中の注意

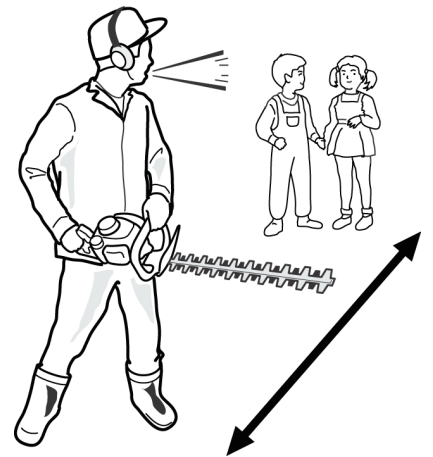
ヘッジトリマを持ったまま振り向いたりすると、往復する刈刃で人を死傷させます。15 m以内に人がいないことを確認し、機械を始動してください。次の場合は、必ずエンジンを停止してください。

- ・ 機械から離れるとき
- ・ 刃に噛み込んだ枝を取り除くとき
- ・ 各部の点検・整備・清掃のとき

排気ガスの方向に可燃物があると火災の恐れがありますので、次の場合も必ずエンジンを停止してください。

- ・ 作業を中断するとき
- ・ 機械を置くとき

混合燃料は引火性が高いので、燃料補給時はエンジンを停止してください。



安全のためには、15 m以内に立ち入らない

休憩中



#### 4. 健康維持への配慮

連続作業は、疲労による事故の原因になります。

1回の連続作業を10分以内とし、作業後は休憩を取ってください。1日の作業時間は2時間以内にしてください。夏場の作業では熱中症にならないよう、適度な水分補給を行ってください。

# [ 取扱操作 ]

## 5. 刈りかた

ハシゴの上や不安定な場所での作業はやめてください。  
刈る枝の太さは7mm以下にしてください。

### ① 上面刈り

機体を水平にし、刃先を刈る方向へ少し下げ、体を軸に円を描くようにすると上手に刈れます。

### ② 側面刈り

機体を垂直にし、刈刃を体からできるだけ離し、下から上に向かって刈るときれいに刈れます。

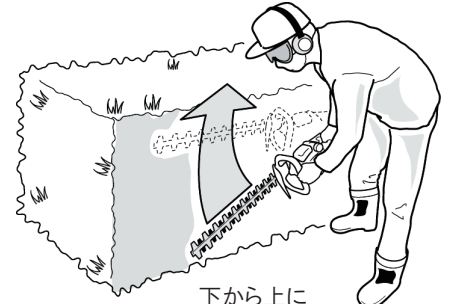


### ① 上面刈り

刈る方向を  
少し下げる



### ② 側面刈り



下から上  
に向かって刈る

## 6. 燃料の確認

燃料は、無鉛ガソリンに2サイクル専用オイル<sup>※1</sup>を下記の割合で混合し、使用してください。

### 燃料混合表

ガソリン	2サイクル専用オイル
	50 : 1 (FD, FC 級オイル)
1 L	20 mL
5 L	100 mL

※1：2サイクル専用オイルはJASO性能分類によりFB、FC、FDの3種に分類され、容器に表示されています。  
(FAグレードは現在廃止されています)

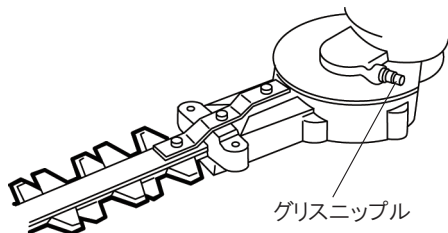
## 7. 作業後のチェック

### [ エンジン部 ]

次の使用まで10日間以上ある場合は、タンク・キャブレタ内の燃料を抜き取ってください。エンジン各部にゴミが詰まっていると、エンジン不調の原因になります。必要に応じ清掃してください。また、点火プラグの点検・清掃を行ってください。

### [ 刈刃 ]

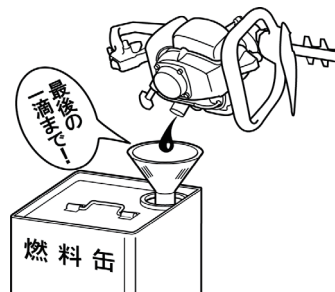
保護手袋を着け、刈刃の清掃を行い損傷の有無を点検してください。刈刃の合わせ面に粘度の低いオイル（2サイクルオイル、4サイクルオイル、マシン油等）を注油してください。



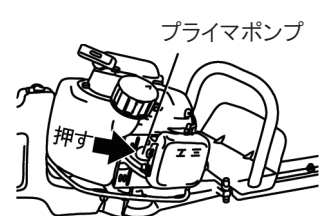
### [ ギヤケース ]

ギヤケースのグリスニップルより耐熱用リチウム系グリスを注入してください（10時間ごと）。グリスポンプを使用し、グリスニップルよりグリスを注入してください。各部のボルト・ナットの緩みを点検し、必要に応じ増締めしてください。

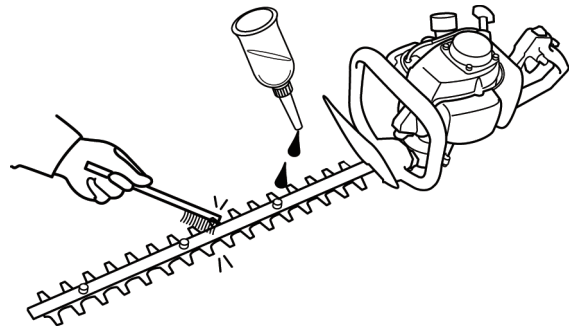
### タンクから



### キャブレタから



- ① プライマポンプを何回か押す
- ② タンク内の混合燃料を排出する
- ③ 始動し止まるまで運転する



必ず取扱説明書をお読みになってからご使用ください。

P/N. 271576-06 1912 IN

働きやすい楽しさをおとどける  
株式会社 **丸山製作所**

本社/東京都千代田区内神田3-4-15 TEL (03) 3252-2281 (営・代表) 〒101-0047  
http://www.maruyama.co.jp

お客様相談窓口<丸山サポートセンター>無料通話 0120-898-114